



~~乙第13号証~~
乙第 2 号証

乙2号証 表紙

安定計算検証書

2. 原告主張（甲 26 号証）の疑問点

1頁

① 斜面安定解析（円弧すべり計算）結果の疑問点

解析結果による常時の安全率が0.819、地震時の安全率が0.386では、現在活動状態にあり、天端地盤にテンションクラックが生じたり、斜面が孕み出したり、下の地盤が隆起していることになる。また、当然のことながら降雨の度に崩壊や地震動を受けるたびに崩壊や地すべりが起きていることになる。

4. 斜面安定計算検証による計算結果

以上の内容で検証を行った結果、検証結果一覧表に示すように

2-3頁目

常時のすべり安全率は、計画安全率1.5に対し3.084
地震時のすべり安全率は、計画安全率1に対し1.134
となり、現況斜面と同様に安定している結果となる。